

# 令和7年入省 新任職員インタビュー



職業安定局  
障害者雇用対策課  
雇用促進係

**加藤 さよ**  
かとう

## 業務内容

障害者雇用対策課では、障害者雇用促進法を所管しており、障害者の雇用の促進に向け、雇用率制度により事業主に雇用義務を課す一方、助成金の運用やハローワークを通じた支援等を行っています。

雇用促進係では、課内における法令に関する業務や労働局からの照会への対応を中心に業務にあたっています。

## 今後やってみたいこと

現在の業務を行うにあたって、自身の視野の狭さを痛感している日々ですので、来年度に労働局とハローワークでの研修も控えておりますが、自治体等も含め様々な関係機関において業務にあたる経験を積みたいと考えております。そういった中で、幅広い視野を獲得し、現場の抱える課題を理解した上で、様々な声を政策に反映することのできる行政官を目指しています。まだまだ未熟ではありますが、「職業」の面から人々の暮らしを支えていく一助を担えるよう努めたいです。

## 業務内容

窓口業務がメインです。具体的には、他省庁や他部局、国会議員等からの依頼を、担当係につなぐ業務をしています。その際に、担当係の負担が可能な限り低減するように作業の道筋を示したり、可能なものは当係で作業を引き受けたり、時には依頼元と担当係の調整役となったりすることが責務だと思い、日々業務に取り組んでいます。

## 学生時代に勉強したこと

大学では司法・犯罪心理学を専攻していました。専攻分野的には、厚生労働省の所管分野に直接関連はありません。しかし、学部の授業において、経済的困窮が犯罪の動機となることや、貧困の世代間連鎖について学ぶ中で、環境によって不利益を被ることなく、誰もがいつからでも自らのキャリアをやり直せる社会をつくりたいと考えようになりました。そこで、アプローチの対象を特定の層に絞ることなく、全国民の方々に目を配ることができる国家公務員として、労働行政に係る制度改革をしたいと思い、厚生労働省を志しました。



人材開発統括官  
キャリア形成支援室  
キャリアコンサルティング係

**菅原 さくら**  
すがわら

## 業務内容

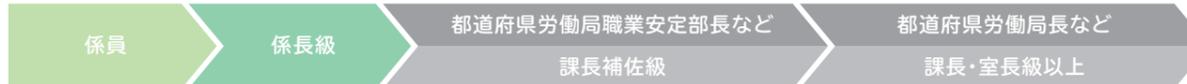
キャリア形成支援室では、一人ひとりが自律的・主体的なキャリア形成に取り組むことのできる環境整備のため、国家資格である「キャリアコンサルタント」の登録制度に関することやキャリアコンサルティングの普及促進に関する事業を行っています。令和7年度は研究会も開催し、今後のキャリアコンサルティングに必要な能力等についての検討を行っています。

## 今後やってみたいこと

入省以来、研究会で有識者の先生方のお話を伺うなど貴重な経験を重ねており、その中で、自分の視野が大きく広がるとともに、まだ知らないことの多さを日々実感しています。多様な経験を通じて成長できるのは、国家公務員という立場ならではの大きな魅力だと感じています。今後も、制度の仕組み、現場の実情、海外の動向など多角的に学び続け、それらの知見を政策に生かすことで、行政官として国民のためになる政策立案に貢献していきたいと考えています。

人材開発統括官  
若年者・キャリア形成支援担当参事官室  
企画係

**正 菜々子**  
しょう ななこ



職業安定局  
雇用開発企画課  
企画法令係

**中田 英里**  
なかだ えり

## 業務内容

現在所属している雇用開発企画課では、主に雇用関係助成金（雇用調整助成金、特定求職者雇用開発助成金、トライアル雇用助成金等）を通じて、就職困難者等の「雇用機会の確保」の実現を目指しています。私は、窓口係として他課室などからの依頼を担当係に取り次いだり、法令係として法令業務に携わったりしています。

## 入省前と入省後の印象の違い

入省前は堅いイメージがありましたが、実際には話しやすい人が多く、不安な点・わからない点は上司に相談しながら業務を進めています。上司や先輩とは、ちょっとした雑談ができる関係性で、おかげであまり根を詰めすぎずに働くことができています。また、1オン1面談やメンター制度など、悩みや不安を聞いてもらえる機会が度々設けられています。

ワークライフバランスについても、有給休暇の取得やテレワーク勤務を上司から促してもらえるので、柔軟に働くことができます。

## 業務内容

全国のハローワークの職業紹介業務を統括する仕事です。主に、他課室から受けた依頼や照会の室内担当係への取り次ぎ、一般の方や全国の労働局からの問い合わせへの対応をしています。また、国会の会期中には答弁の作成や関係課室の答弁内容の確認・調整を行うこともあります。

## 現在の業務の魅力

現在の業務では、都道府県労働局とのやりとりが多いため、本省にしながら現場の実態を知ることや、実際に制度を活用して成果を得られた好事例に触れることができ、やりがいになっています。

また、大量離職が生じた際やハローワークに関する記事が出た際には、現状の整理やハローワークにできることを模索するなど、リアルタイムで課題に向き合っている感覚があり、やりがいだけでなく多くの学びが得られます。



職業安定局  
首席職業指導官室  
職業紹介係

**和合 伊吹**  
わごう いぶき



## 業務内容

障害者雇用対策課地域就労支援室に配属となり、精神・発達障害者雇用サポーター等に関する各労働局との問合せ対応や障害者のテレワーク雇用促進に関して受託者と調整をすること、在宅就業支援団体の登録や更新などの業務に従事しています。

## 前職との違いについて

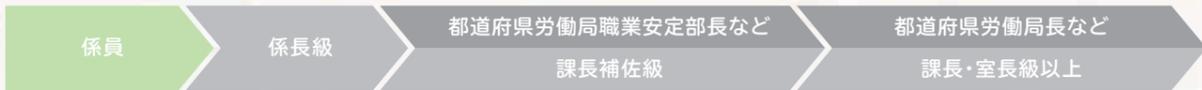
前職の市役所の生活保護業務で、困難を抱える方々の就労や若年層のキャリア形成に係る業務に携わりました。この経験を生かし、労働市場に少しでも寄り添いたいと思い、厚生労働省の人間科学職を志望しました。

入省してみると、ペーパーレス化やマンスリー休暇、テレワーク、時差出勤などの制度があり働きやすさを感じました。前職では、電話や対面での会話、紙ベースでの仕事がメインでしたが、入省してからはメールやチャットが主となっており、大きな違いを感じました。



職業安定局  
地域就労支援室  
就労支援係長

**渡邊 兼成**  
わたなべ けんせい

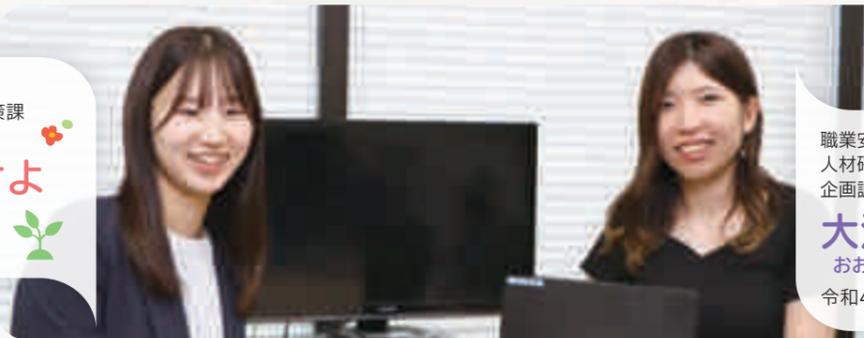


## メンター制度



職業安定局  
障害者雇用対策課  
雇用促進係

**加藤 さよ**  
かとう  
令和7年入省



職業安定局  
人材確保支援総合企画室  
企画調整係

**大江 さつき**  
おおえ  
令和4年入省

### 1 メンティーからメンターに相談したことを教えてください。

**加藤** 業務を進める上での上司との関係の築き方や研修についてのほか、行き詰まったときの切り替え方など、業務内外問わず、社会人として働く上で知っておきたいことを相談しました。

### 2 メンターからメンティーにアドバイスしたことを教えてください。

**大江** 業務が多忙な中で先輩に相談してよいか悩んでいたのですが、1年目は分からないことばかりで当然だからこそ、遠慮せずに聞いて大丈夫だと伝えました。また、相談は結果的に効率よく仕事を進めることにもつながることも伝えました。

### 3 メンターがいてよかったなと思ったのはどういうときですか。

**加藤** 定期的に面談の時間を設けていただいたり、チャットでも相談に乗っていただいていたりで、悩んだときに気軽に頼ることができる先輩がいるということは、日々の業務を行う上での安心と成長につながっていると感じます。

### 4 今後、メンティーにどう成長してほしいですか。

**大江** 部署が離れていると話す機会が限られてしまいますが、メンター制度としてつながりがあることで、私からも声をかけやすく、相談の時間も取りやすくなります。相談に時間を使うことが職場内で理解されやすいのも、この制度の良さと感じています。  
加藤さんの丁寧な業務に取り組まれる姿勢を強みに、どんどん挑戦して活躍の場を広げていただけたら嬉しいです。

## 新任職員の1日

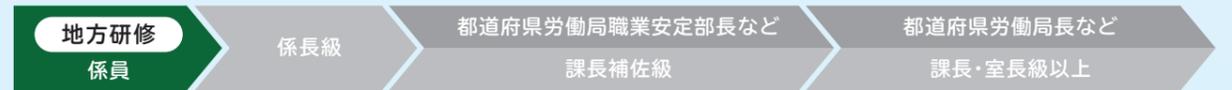


職業安定局  
首席職業指導官室 職業紹介係

**和合 伊吹**  
わごう いぶき  
令和7年入省

### 1日のスケジュール

- 09:30** ◆ 登庁  
朝はメールの確認からはじまります。他課室からの依頼があれば必要に応じて担当係に取り次ぎます。
- 10:30** ◆ 労働局からの照会への対応  
職業紹介業務において生じた疑義照会について、法令や過去の事例を参考にして回答を作成します。
- 12:15** ◆ 昼食  
庁舎内外には飲食店が多数あるほか、日比谷公園が近いため公園内でゆったりと食事することもできます。
- 14:00** ◆ ハローワークの視察  
施設内の見学や取組・実態についての説明を受けた後、意見交換会などで課題の見立てをすりあわせします。現場を見ることがレイアウト等から各所の工夫が感じられ、とても参考になります。
- 16:00** ◆ 電話対応  
一般の方や労働局からの問い合わせに対応します。
- 18:15** ◆ 退庁  
仕事を整理して退庁します。



## 人間科学職の地方研修(2年目)



(令和6年度所属)  
人材開発統括官  
若年者・キャリア形成支援担当参事官室  
企画係

**中村 颯希**  
なかむら さつき



### 広島労働局 広島公共職業安定所

#### ◎ 地方研修ならではの経験はありますか？

研修では、ハローワークの各部門・課の業務を1か月ずつ経験しており、昨年まで耳にするだけだった雇用保険や求人など、職業安定行政の施策同士の結びつきを日々実感しています。

広島労働局では、7月からハローワーク広島に人材確保サポートコーナーが開設され、その宣伝のためのローカル番組出演に参加したほか、関係施設と連携したイベントなどにも参加しました。このような、地域で力を入れているイベントや、新しい施策実行の最前線に関わることができるのは地方研修の醍醐味だと思います。



(令和6年度所属)  
職業安定局  
首席職業指導官室  
職業紹介係

**平田 智也**  
ひらた ともや



### 福岡労働局 福岡東公共職業安定所

#### ◎ 研修中に印象的だったことはありますか？

ある日の仕事終わり、職員から「人を商品にしてはならない。ハローワークは、営利を目的としない立場から、仕事を通じて一人ひとりの人生と尊厳を守る。そこに我々の存在意義があるんだ。」という熱いお話を伺い、背筋が伸びるような思いをしました。このように、職業安定行政の最前線で働く職員と出会い、同じ視点でその苦心や思いに触れることができることは、地方研修ならではの貴重な経験だと思います。

「人や言葉との出会い」を大切に、本省に戻った後は、現場感覚を生かした政策や制度を実現したいと考えています。



(令和6年度所属)  
職業安定局  
高齢者雇用対策課  
高齢者雇用企画係

**埴田 ゆかり**  
はにた

### 宮城労働局 仙台公共職業安定所

#### ◎ 研修中に学んだことはどんなことですか？

宮城労働局では、ハローワークと職業安定部の各課をそれぞれまわり、イベントや会議への参加に加え、地元企業や関係機関の見学など、貴重な経験をしています。現場での実務や職員とのやりとりを通して、現場での考え方や工夫を学ぶとともに、雇用保険、職業相談・紹介、職業訓練のあっせん等が相互に密接に関わっていることを実感しています。

プライベートでは、職員との交流や観光を通じて、宮城県の魅力を感じています。

本省に戻った際も、現場で学んだことや職員の声や忘れず、現場と本省を繋ぐことを意識してまいります。